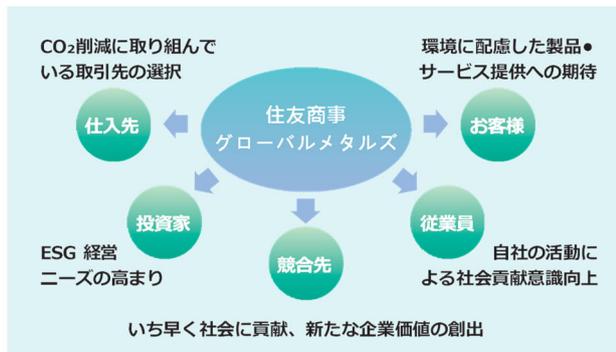


なぜカーボンニュートラル活動に取り組むのか

住友商事グローバルメタルズ（SCGM）は、金属ビジネスを通じ、社会や皆様の課題解決により高い価値を提供する企業を目指しており、住友商事グループ企業として 2050 年カーボンニュートラル実現に向けて様々な活動を行っております。

SDGsに代表される様々な社会課題への取組は、企業にとって重要な経営課題であると同時に貴重なビジネスチャンスととらえています。不透明な時代だからこそ、私たちはパッションをもって社会の進化に向き合い、確実に未来に向けて歩を進め、サステイナブルな社会構築への貢献を目指して参ります。



具体的には、当社としては、従来からの組織横断型の取組、「カーボンニュートラル情報連絡会」「Business Against Climate Change(BACC/ 気候変動対応) ワーキンググループ」をベースに、23 年度より「事業開発グループ」、「サステナビリティ推進チーム」を立ち上げ、CN 活動に一層注力して参ります。本日はその取組の一部を紹介致します。

浮体式洋上・陸上風力発電分野での取り組み

2023

米英 EU 政府および多くの有識者・発電事業者をお呼びして第二回カンファレンスを開催

複数の海外の GW 級浮体式洋上風力発電開発向けの資材供給打ち合わせ開始

2022

Shell・Equinor・OW・戸田建設・日揮と共に日本で最初の浮体式洋上風力発電専門のカンファレンスを東京で開催、活発な議論を展開、各地での検討に貢献



日本の浮体式洋上風力発電に対する期待と展望

日本経済産業省が実施する調査

2021

Floating Wind Japan™



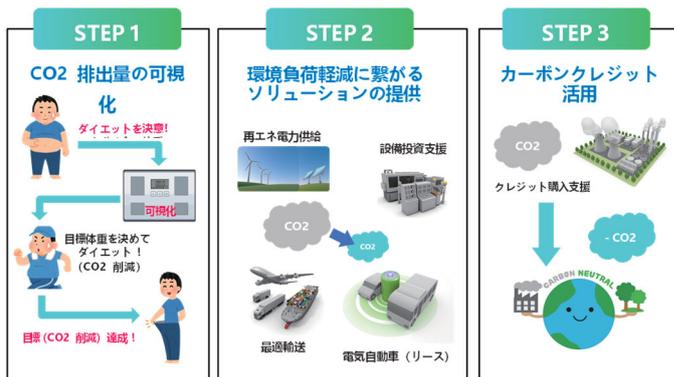
2020

Shell・Equinor・OW・戸田建設・日揮と「日本の浮体式洋上風力発電に対する期待と展望」を発行、日本各地の経済活性化・雇用創出と漁業との共生に繋がる浮体開発を提案
年初に欧州で「陸上風力発電用途のコンクリート構造物」および「洋上風力発電関連の漁業養畜技術・係留技術」の打ち合わせを重ね、その後の協業に繋がる各種検討を立ち上げる

CO2 排出量の可視化・削減への取り組み

カーボンニュートラル(CN)を達成するためには、そもそも自分たちの活動でどれほどCO2を排出しているのか分からないと目標設定もできません。また、自社だけではなく原材料から製品製造、製品運搬などを含めたサプライチェーン全体でCO2を削減することが求められており、サステナビリティ推進チームやBACC/気候変動ワーキンググループにて細かなデータを繋ぎ合わせ、排出量の可視化に取り組んでおります。

更に、住友商事グループの総合力を活用した削減ソリューションの提供、カーボンクレジットを活用したオフセット支援など、当社の付加価値向上を通して業界全体でのCN達成に貢献して参ります。

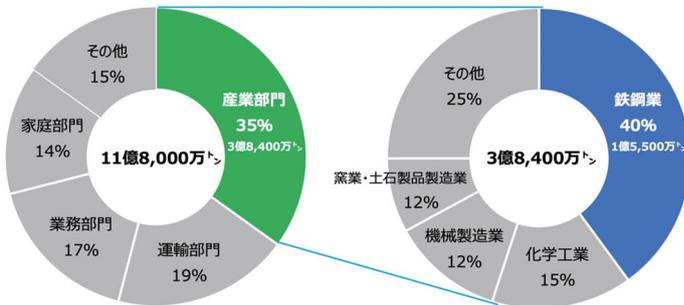


※現在、当社はグループでのCO2 排出量の算定を完了(Step1)

算出結果はこちらから⇒



グリーンスチール・サプライチェーン構築の取り組み



産業別CO2排出量の内訳

製造業別CO2排出量の内訳

鉄鋼業界のCO2 排出量は産業部門の40%、日本全体でも14%を占めており、CO2削減が急務となっている。

私たちはグリーンスチール・サプライチェーン構築やその製品販売を通じ、サステナブルな社会実現を目指します。

